

生徒の「問い」や「気づき」を生かした指導の工夫

本資料は、授業改善推進チームが勤務した学校の数学の授業の板書を通して、数学の各単元でよく見られる生徒のつまずきを紹介するとともに、そのつまずきを生徒の「問い」や「気づき」として捉え、指導に生かした実践を紹介するものです。

各中学校においては、数学の授業づくりや教材研究の際に、是非、本資料をご活用ください。

	単元名	実践事例
第1学年 (函館市チーム作成)	1 正の数・負の数	1-1
	2 文字と式	1-2
	3 一元一次方程式	1-3
	4 比例・反比例	1-4
	5 平面図形	1-5
	6 空間図形	1-6
	7 データの分布	1-7
	8 不確定な事象の起こりやすさ	1-8
第2学年 (旭川市チーム作成)	1 文字を用いた式	2-1
	2 連立二元一次方程式	2-2
	3 一次関数	2-3
	4 基本的な平面図形と平行線の性質	2-4
	5 図形の合同	2-5
	6 場合の数を基にして得られる確率	2-6
	7 データの分布の比較	2-7
第3学年 (釧路市チーム作成)	1 式の展開と因数分解	3-1
	2 平方根	3-2
	3 二次方程式	3-3
	4 関数 $y=ax^2$	3-4
	5 図形の相似	3-5
	6 円周角と中心角	3-6
	7 三平方の定理	3-7
	8 標本調査	3-8